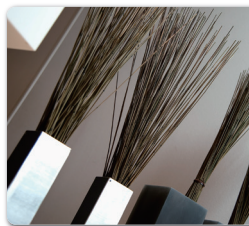


1ミリ秒単位のスピードと安定性が要求される 金融取引システムでAXシリーズが採用

金融機関のフロント業務をITで支援するシンプレクス株式会社。機関投資家向けのディーリングシステムから、個人投資家向けのインターネット取引システムに至るまで、幅広いサービスを提供しています。なかでも外国為替証拠金取引（FX）に代表される金融取引システムのクラウドサービスは、圧倒的な市場シェアを獲得しています。高いパフォーマンスと安定性が求められる金融機関向けクラウドサービスの基盤としてシンプレクスが選んだのは、A10 ネットワークスのAXシリーズでした。



Value Point

パフォーマンス確保と安定した運用を実現したうえに、コスト削減と運用負荷軽減まで実現できました。

AXシリーズの高機能な仮想化機能はクラウド環境に最適です。

シンプレクス株式会社



リテール・ソリューショングループ
プロフェッショナル
岸 卓甫氏

■ 課題：SSL鍵長増加による、SSLパフォーマンス低下の懸念

金融機関におけるIT投資は業務効率化・コスト削減を目的としたものから、経営目標の実現・収益の拡大を目的としたものへ大きくシフトしています。シンプレクス株式会社は、金融機関が収益の最大化のためのIT投資を行う分野を金融フロンティア領域と定義し、この領域に特化したソリューションを提供しています。なかでも外国為替証拠金取引（FX）に代表される金融取引システムのクラウドサービスは、圧倒的な市場シェアを獲得しています。

「こうしたサービス基盤の一部で使っているロードバランサーがキャパシティ面での限界を迎えることをきっかけに、それまで感じていた課題を解決できる新たな製品の選定がスタートしました。」

岸卓甫氏はシステム再構築の契機をそう振り返り、当時の課題を説明してくれました。最大の課題は、推奨されるSSL鍵長の増加によるSSLパフォーマンスの低下です。金融取引システムが機密性の高い情報を取り扱うという性格上、シンプレクスはサイト全体をSSLの暗号化通信で構成しています。そのため、1024ビットSSLから2048ビットへの移行がサイト全体のパフォーマンス低下に影響していました。

「金融取引を行なうサイトでは、相場の変動時に急激なアクセス集中が発生します。わずかなネットワークの遅延や判断の遅れが取引に影響することもあり、ピーク時のアクセスに耐えるパフォーマンスの確保は、サービスを提供するために最低限クリアしなければならない条件なのです。」

さらに岸氏は、SSLアクセラレーターのライセンス体系についても言及しました。当時利用していたロードバランサーのSSLアクセラレーターは、1秒あたりのトランザクション数に応じたライセンス体系を取っていたのです。このため、サービス追加や利用者増加のたびに、ライセンスを購入しなければならませんでした。

■ 検証：性能とコストのバランス、仮想化を含めた機能の高さが決め手

新たに導入する機器の選定にあたり、最初に候補となったのは当然、当時利用していた製品と同じベンダーの後継製品です。さらに比較検討の対象として、A10 ネットワークスのAXシリーズが挙げられました。比較検討時の印象を岸氏は、次のように語ります。

「インテグレーターで紹介で、世界的にシェアを伸ばし続けているAXシリーズを知りました。特に注目したのは、性能とコストのバランスです。実際に検証を行った結果、既存の製品の半分のコストで8倍の性能を得られることがわかりました。」

AXシリーズは製品を一度購入すれば、機能やパフォーマンスごとのライセンス料はかからずすべての機能を使用できるため、追加費用の発生する心配がありません。クラウドサービスでは複数のサービスをひとつのインフラで提供しなければなりません、こちらもADP (Application Delivery Partition: 仮想ロードバランサー) 機能によりAXシリーズが持つ標準機能の一部として実現できます。また、以前のベンダーの製品では独自のスクリプト言語を使ってアクセスを振り分ける処理をしていましたが、AXシリーズにもaFlexというスクリプト言語が搭載されており、同様の処理が可能です。

「ベンダー独自の機能を利用している処理部分の移行には、最初は不安もありました。しかしA10ネットワークスのエンジニアからのサポートによって安心して進めることができました。」

岸氏が不安なく取り組めたというロードバランサーの移行は、実際スムーズに進みました。2013年春に機器選定を終え、同年6月のカットオーバーという早さからも、スムーズさがうかがえます。

■ 導入効果：パフォーマンス向上と運用負荷軽減を実感

AXシリーズ導入の効果は、高いパフォーマンスと安定性という点ですぐに表れました。パフォーマンスを手軽に確認できるモニタリング機能の充実が、運用負荷の軽減にも役立っていると言います。

「クラウドサービスを安定して提供するためには各サービスのパフォーマンスを確認しなければなりません、AXシリーズはWeb GUIを使ったモニタリングが使いやすいので助かっています」

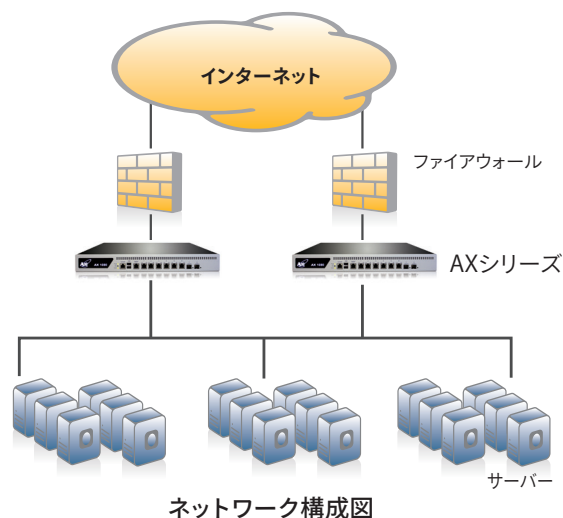
岸氏はさらに、データプレーンとコントロールプレーンが分離^{*1}されていることで運用が楽になったと続けました。以前のロードバランサーでは保守作業の負荷がサービスパフォーマンスに影響していたため、アクセスの少ない時間帯を選んで作業しなければならなかった。AXシリーズではそうした心配がなく、メンテナンススケジュールを柔軟に組むことができます。

AXシリーズの優れた仮想化機能と余裕あるパフォーマンスを得たことで、今後のサービス展開にもスピーディに対応可能な基盤を作ることができたと、岸氏は今回のリプレースを評価しています。

「金融機関向けクラウドサービスは市場の変動というひとつの要因でアクセス数が変動するため、ピーク時にはお客様からのアクセスが集中します。AXシリーズのおかげで1秒間に数千件単位で集中するアクセスにも余裕を持って対応でき、新サービスの立ち上げにも即応できる体制

が整ったと自負しています。今後は、アプリケーションや顧客ごとに異なる設定をすることができるADP機能を使用して、柔軟なクラウドサービスを構築したいと思っています。」

^{*1} AXシリーズで使用されている独自OS ACOSは、データプレーンとコントロールプレーンを分離させたアーキテクチャを採用することにより、管理画面への接続やレポート生成等で万が一管理系トラフィックの負荷が上がった場合でも、実データトラフィックへの影響を回避できる設計となっている。



A10 Networks/A10ネットワークス株式会社について

A10 Networks (NYSE: ATEN) はアプリケーションネットワーク分野におけるリーダーとして、高性能なアプリケーションネットワークソリューション群を提供しています。世界中で数千社にのぼる大企業やサービスプロバイダー、大規模 Web プロバイダーといったお客様のデータセンターに導入され、アプリケーションとネットワークを高速化し安全性を確保しています。A10 Networks は 2004 年に設立されました。米国カリフォルニア州サンノゼに本拠地を置き、世界各国の拠点からお客様をサポートしています。

A10ネットワークス株式会社はA10 Networksの日本子会社であり、お客様の意見や要望を積極的に取り入れ、革新的なアプリケーションネットワークソリューションをご提供することを使命としています。

詳しくはホームページをご覧ください。

www.a10networks.co.jp

Facebook : <http://www.facebook.com/A10networksjapan>

(記載された内容は 2013 年 9 月時点の情報です。)

A10ネットワークス株式会社

〒106-0032
東京都港区六本木3-2-1
住友不動産六本木グランドタワー33階
TEL : 03-4520-5700
FAX: 03-4520-5701
jinfo@a10networks.com
www.a10networks.co.jp

海外拠点

北米 (A10 Networks 本社)
sales@a10networks.com
ヨーロッパ
emea_sales@a10networks.com
南米
latam_sales@a10networks.com
中国
china_sales@a10networks.com

香港
HongKong@a10networks.com
台湾
taiwan@a10networks.com
韓国
korea@a10networks.com
南アジア
SouthAsia@a10networks.com
オーストラリア/ニュージーランド
anz_sales@a10networks.com

お客様のビジネスを強化するA10のアプリケーションサービスゲートウェイ、Thunderの詳細は、A10ネットワークスのWebサイトwww.a10networks.co.jpをご覧ください。A10の営業担当者にご連絡ください。

Part Number: CSAX_20150218_Simplex

©2015 A10 Networks, Inc. All rights reserved. A10 Networks, A10ロゴ, A10 Lightning, A10 Thunder, aCloud, ACOS, ACOS Policy Engine, ACOS Synergy, Affinity, aFlex, aFlow, aGalaxy, aVCS, AX, aXAPI, iDaccess, iDsentrie, IP-to-ID, SoftAX, SSL Insight, Thunder, Thunder TPS, UASG, VirtualN, Virtual ChassisおよびvThunderは米国およびその他の各国におけるA10 Networks, Inc. の商標または登録商標です。その他上記の全ての商品およびサービスの名称はそれら各社の商標です。A10 Networksは本書の誤りに関して責任を負いません。A10 Networksは、予告なく本書を変更、修正、譲渡、および改訂する権利を留保します。製品の仕様や機能は、変更する場合がございしますので、ご注意ください。*記載の内容は取材当時のものです。